



2022年10月3日

各 位

会社名 株式会社関通
代表者名 代表取締役社長 達城 久裕
(コード番号 : 9326 東証グロース)
問合せ先 常務取締役 片山 忠司
電話番号 06-6224-3361

2023年2月期第2四半期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月14日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」において公表しました2023年2月期第2四半期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 業績予想の修正について

2023年2月期第2四半期（累計）連結業績予想数値（2022年3月1日～2022年8月31日）

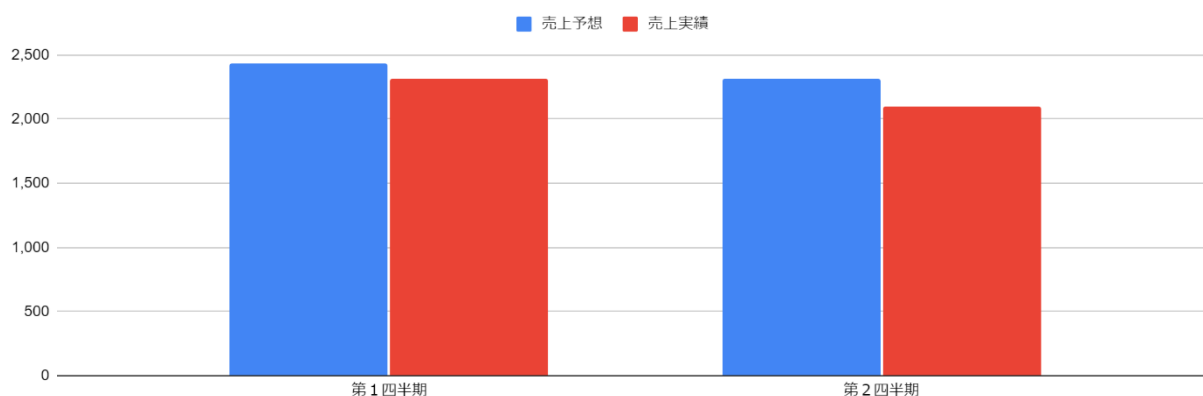
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,516	311	290	196	19.11
今回修正予想（B）	5,107	191	175	113	11.01
増減額（B－A）	△408	△120	△115	△83	－
増減率（％）	△7.4	△38.6	△39.6	△42.4	－
（ご参考）前期第2四半期単体実績 （2022年2月期第2四半期）	5,111	356	334	230	22.91

（注）当社は、2023年2月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、前期第2四半期実績は、当社単体の実績を記載しております。

2. 修正の理由

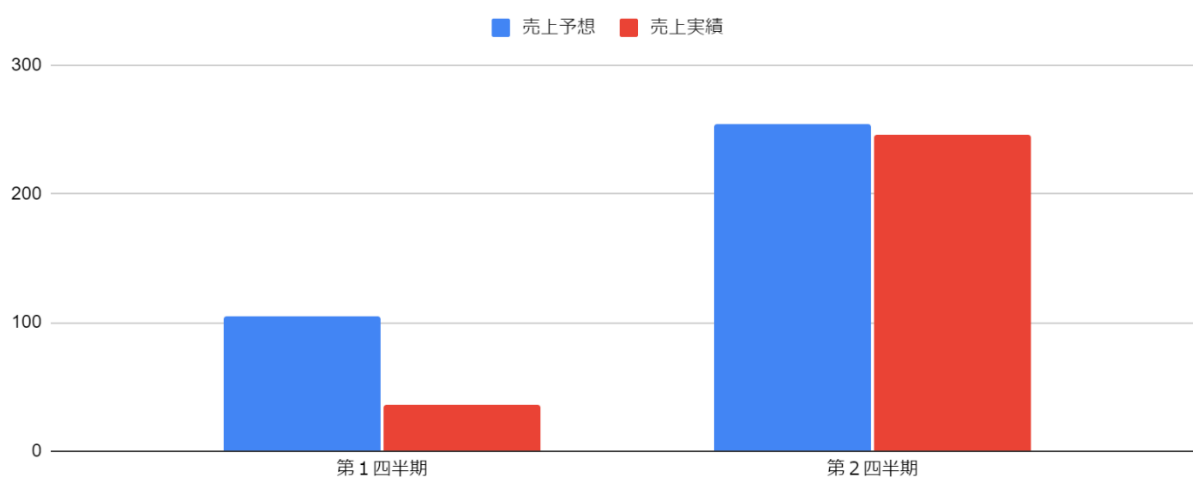
2023年2月期第2四半期連結累計業績の売上高につきまして、物流サービス事業においては、新規のお客様獲得は堅調に推移した一方で、当初予想においては既存のお客様に係る売上予想は前期と同水準で推移するものと見込んでおりましたが、実績はこれを下回る水準で推移し、2023年2月期第2四半期連結累計期間の既存のお客様に係る売上実績は速報値で前年同期を7.1%（金額にして335百万円）下回る実績（第1四半期は前年同期比4.8%減・第2四半期は前年同期比9.5%減）となりました。また、同事業における売上原価の低減が十分に進捗せず、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益とも、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

既存のお客様に係る売上予想と実績比較（単位：百万円）



新型コロナウイルスの感染拡大を経て、E コマースの必要性は継続して増しておりますが、大手企業を含む多数の企業のE コマース市場への新規参入、または本格的な事業展開の影響を受けたことが、当社のお客様はじめ、既存のE コマース事業者における競争環境が厳しくなっていると考えられます。加えて、中国のロックダウンによる国際物流網の停滞・遅延も既存のE コマース事業者の販売戦略に少なからず影響し、当社による出荷数量が前年同期を下回ったことが、当社の既存のお客様に係る売上予想未達の原因と考えております。

新規のお客様に係る売上予想と売上実績推移（単位：百万円）



一方、新規のお客様の獲得につきましては、第1四半期は新規獲得した契約の業務開始準備のため、第1四半期会計期間で予算比34%（金額にして予算比△67百万円）の実績でありましたが、第2四半期会計期間は業務開始準備が整い順調に売上が計上され、予算比96%（金額にして予算比△8百万円）となり、予算水準で推移しております。

なお、2023年2月期通期の連結業績予想につきましては、物流サービス事業における既存のお客様の出荷個数の回復には時間を要する可能性がある一方で、物流サービス事業及びITオートメーション事業において、第2四半期まで堅調に推移している新規のお客様獲得を、第3四半期以降において一層強化すること、またクラウドトーマスの新規導入、及びEC・通販物流支援サービスの新規導入を予定どおりに開始できる体制を強化することで、当初公表しております業績予想を達成する見込みであるため、現時点では変更はありません。修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

以上

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。